

## 高齢者が住みやすい山梨づくり ～第19回介護健康フェア in こうふ～

## 甲府市介護サービス 事業者連絡協議会

甲府市介護サービス事業者連絡協議会(根津宏次代表幹事 51 会員)は、高齢者に「安心」を提供し地域に貢献することを目的に地域住民や高齢者向けのイベントとして、11月26日(火)～29日(金)の4日間にわたり甲府市役所で「介護健康フェア in こうふ」を開催した。

19 回目の開催となる今年は、会員事業所に加え介護用品の販売企業など計 32 社が出展し、福祉用具や介護食だけでなく介護ロボットの紹介など介護サービスに関する情報提供やPRを行った。また、電動車いす・介護用ベット・バランスウォーク等の福祉用具や健康関連器具の展示、介護に関する相談コーナー、介護サービス利用者の作品展示コーナーを設けた他、見守り機器やコミュニケーションロボット、リハビリ用の歩行訓練支援機器の実演、介護食の展示と試食、マッサージやリハビリ体験等が行えるなど、出展者それぞれが工夫を凝らした。

今年は「2020 東京パラリンピック」が開催され、正式種目にもなっている「ボッチャ」(ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青



のそれぞれ6球ずつのボールを近づけるかを競う競技)の体験コーナーも山梨県ボッチャ協会の協力により実現した。

根津代表幹事は、「介護健康フェアの実施を通じて、これからも介護に関する情報提供や相談に加え様々な提案を行っていききたい。今後一層進む高齢化社会に対応していくために、介護サービスの方向をしっかりと把握し、人による人へのサービスとして、安心でき満足され喜んでもらえるサービスの提供に引き続き努め、高齢者が住みやすい山梨づくりの一翼を担っていききたい。」と抱負を語ってくれた。